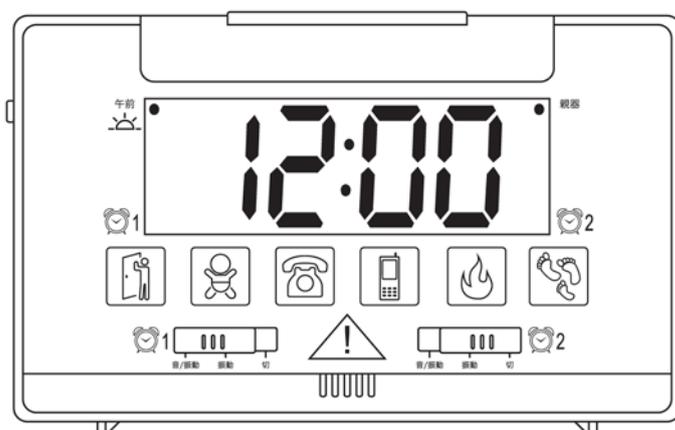


**CA-360J**

セントラルアラート  
屋内信号装置

ユーザーマニュアル



## 目次

1. 特徴	2
2. 安全使用のお願い	3
3. 製品について	4
4. 同梱内容	4
5. 各部名称	5
6. 親器の設置とテスト	6
7. 時刻の設定	6
8. アラーム時刻の設定	7
9. 12/24 時間設定	8
10. 電話着信機能のテスト	8
11. ドアベルの設置とテスト	9
12. ドアベルの電池交換	9
13. 火災警報器の接続	10
14. 外付けランプ (CA-LX) への接続	10
15. 無線式ドアベルの追加	10
16. 製品仕様	11
17. ディスプレイ表示内容	11
18. 別売アクセサリ類	12
19. よくある質問	13-14
20. 品質保証	15

## ■ 特徴

1. 2.4 GHzの無線技術により、家中の全てを受信範囲としてカバー
2. 次のような、日常生活の中で発生する事象を振動、光、音などで分かりやすくお知らせ
  - ・目覚まし時計
  - ・電話着信/FAX着信/携帯電話着信/テレビ電話着信
  - ・赤ちゃんの泣き声
  - ・徘徊感知 等
  - ・来客
  - ・火災警報
  - ・移報接点付き警報器類
3. 5つの方法で確実にお知らせ
  - ・大音量のアラーム音
  - ・高輝度フラッシュライトの光
  - ・ベッドシェーカの振動
  - ・見やすいアイコン表示
  - ・メッセージ表示
4. 2つのアラームと、明るい大型デジタルディスプレイ表示(12/24時間表示選択)
5. 夜間自動調光ディスプレイ表示
6. ベッドシェーカは2個接続可能(ベッドシェーカ1個は付属)
7. 世界標準の無線技術
8. 長い距離をカバーする内蔵アンテナを採用
9. 電話線を接続し、電話/FAX/テレビ電話の着信をお知らせ
10. 外付ランプ用出力端子(外付ランプは別売)
11. 警報音は520Hzの低周波矩形波を採用
12. 内蔵型フラッシュライト
13. 移報接点付き警報システム用入力端子
14. 動作確認用**TEST**ボタン付
15. コードを接続するだけで、すぐに使用出来る簡単設計
16. 停電時、48時間全機能を可動できるバックアップ用電池(電池は別売)

## ■ 安全使用のお願い

CA-360J セントラルアラートのご使用にあたり、火事や感電、およびケガを避けるために以下の使用上の注意事項をお守り下さい。

1. 製品のご使用前に取扱い説明書をお読み下さい。
2. 金属表面上にCA-360J セントラルアラートを設置しないで下さい。
3. 液漏れ等の原因となりますので、充電機能のない電池は使用しないで下さい。
4. 充電電池を交換する際は、電話線をCA-360Jより抜いてから交換して下さい。
5. 露出した金属部分に触れないでください。
6. 製造元が販売、または推奨する付属品のみご使用下さい。
7. 野外でのご使用はおやめ下さい。また水のかかる場所でのご使用も避けて下さい。
8. 電源からプラグを抜く際は、全てのスイッチをオフにしてから抜いて下さい。
9. コードを製品から抜く際は、コードではなくプラグ部分を握って抜いて下さい。
10. 点検や清掃の際は電源プラグを抜いてから行って下さい。
11. 破損したコードやプラグでのご使用はおやめ下さい。  
落下や破損等により機能に不具合が生じた場合は、製品のご使用を中止して、点検、修理、調整の為に、お近くの販売店へ製品をお送り下さい。
12. 雷雨の間は、雷による感電を避けるため電話機のご使用を避けて下さい。
13. 製品の仕様は予告無く変更になることがございますので、ご了承下さい。

## ■ 製品について

CA-360Jセントラルアラートは先進的な無線技術を採用した聴覚障害者用屋内信号装置です。1.25インチの大型緑色デジタル表示画面に、2つの個別設定可能な目覚ましアラーム時計機能があります。独自技術の2.4GHz周波数帯を採用し、反応速度の早さと広範囲での受信を可能にしています。この技術は受信チャンネル設定の必要が無く、様々なシステムに対応可能となっております。

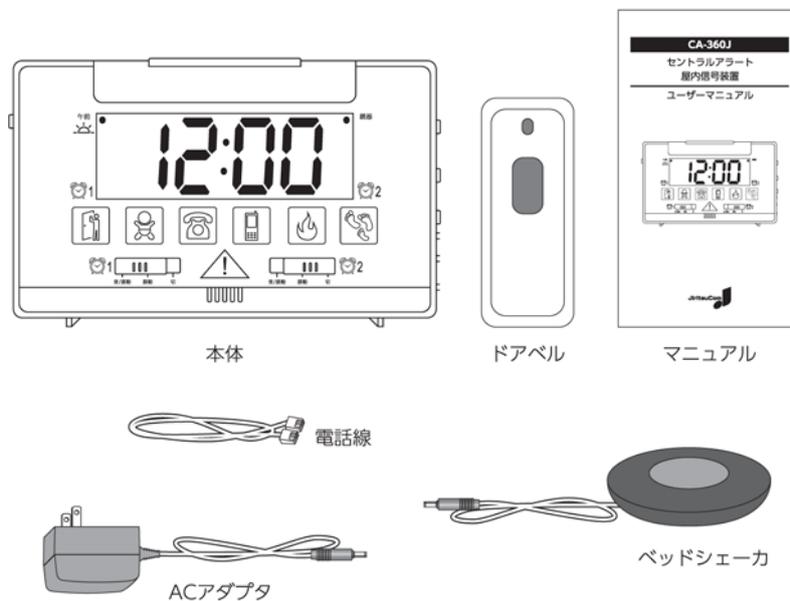
このシステムは来客等の10種類の屋内での出来事を、音、フラッシュ、振動、アイコン、デジタルメッセージ等の5つの方法でお知らせします。(一部機能は、別売のオプションアクセサリー類をご購入頂く必要があります)。

システムの標準仕様として、親器、無線式ドアベル、ベッドシェーカ、ACアダプタ、電話線、本取扱い説明書が付属しています。付属の無線式ドアベルは親器と無線接続設定済みですので、すぐにお使い頂けます。

広いお宅やオフィスで使用する為に、追加オプションのリモコン受信器、無線式センサ、ベッドシェーカをご購入頂けます。新しいセンサ類はご使用前に親器に登録する必要があります。(10ページの無線式ドアベルの追加の項を参照下さい)。

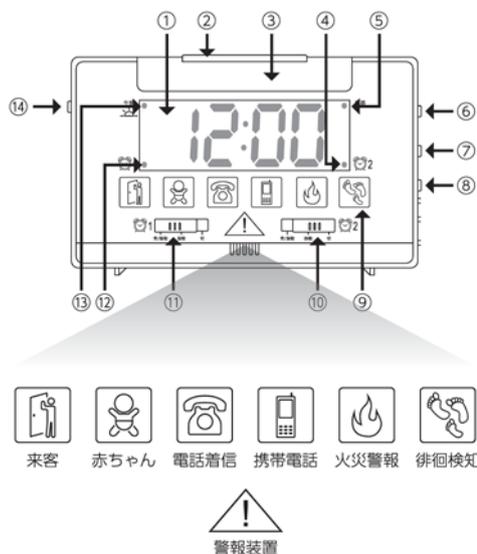
4つの単三充電池(別売)で48時間の停電時バックアップが可能となります。

## ■ 同梱内容

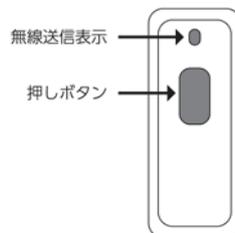
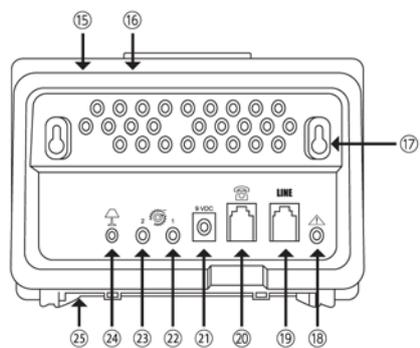


## 各部名称

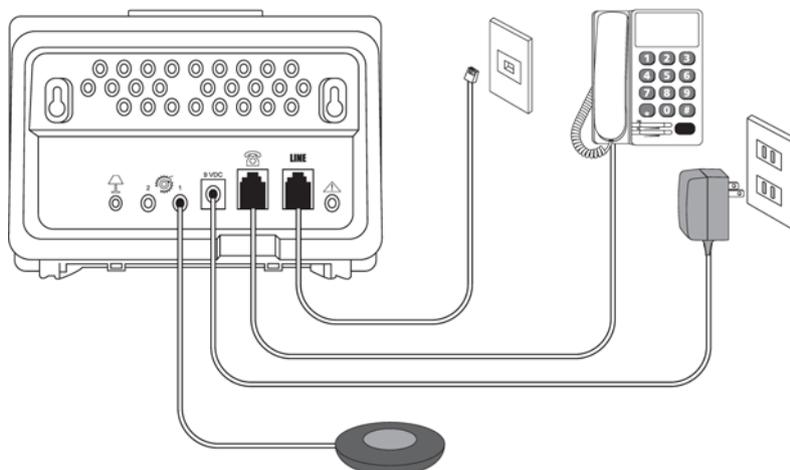
- ① 時計表示ディスプレイ(1.25インチ)
- ② RESET/SNOOZEボタン
- ③ フラッシュライト
- ④ アラーム2 “オン”表示
- ⑤ 親器表示
- ⑥ 設定スイッチ
- ⑦ 「時」設定ボタン
- ⑧ 「分」設定ボタン
- ⑨ 6種類のアイコン
- ⑩ アラーム2目覚まし設定スイッチ
- ⑪ アラーム1目覚まし設定スイッチ
- ⑫ アラーム1 “オン”表示
- ⑬ 午前表示
- ⑭ 音量切替(大ー小ー切)



- ⑮ MOTION (徘徊) オン/オフ ボタン
- ⑯ TESTボタン
- ⑰ 壁掛け用穴
- ⑱ 警報装置入力用端子
- ⑲ 電話線入力端子
- ⑳ 電話線出力端子
- ㉑ ACアダプタ用端子(9VDC, 1,000mA)
- ㉒ アラーム1用ベッドシェーカ接続端子
- ㉓ アラーム2用ベッドシェーカ接続端子
- ㉔ 外付ランプ用接続端子  
(外付ランプは別売オプション)
- ㉕ 充電電池収納室(底部)



## ■ 親器の設置とテスト



1. 単三充電電池4本(別売)を製品底部にある電池収納室へ挿入します。  
**注意:**液漏れやCA-360Jの故障の原因となりますので、充電機能のない電池は使用しないで下さい。(充電電池は停電時のバックアップの為のものです。充電電池を挿入しなくても通常の使用には何の影響もありません。)
2. 図のように、CA360JにACアダプタプラグを差し込んで、ACアダプタをお近くの電源に接続します。
3. ベッドシェーカをアラーム1用ベッドシェーカ端子へ接続します。
4. 親器後部の電話線入力端子に壁からの電話線を接続し、電話線出力端子と電話機を付属の電話線で接続します。
5. 音の大きさ(CA-360Jの左側面)をお好みの音量に設定します。(大一小一切)。
6. **RESET/SNOOZE**ボタンでフラッシュライトのオン/オフ切替が出来るかを確認します。
7. 親器表示が点灯している事を確認します。

## ■ 時刻の設定

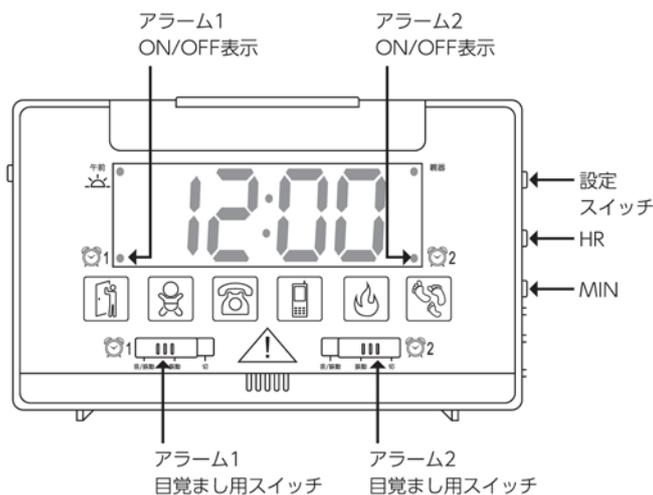
1. スライド式の設定スイッチ(CA-360Jの右側側面)をTIMEの位置にセットして、**HR**(時)と**MIN**(分)ボタンを押して時刻の設定をします。それぞれボタンを押すと時刻が進みます。長押しすると時刻が連続的に進みます。
2. 時刻設定が終わりましたら、設定スイッチを**RUN**の位置に設定して通常の時計表示にします。



## ■ アラーム時刻の設定

1. スライド式の設定スイッチ (CA-360Jの右側側面) を  1 (アラーム1) の位置にして、**HR** (時) と **MIN** (分) ボタンを押してアラーム時刻の設定をします。
2. アラーム時刻設定が終わりましたら、設定スイッチを**RUN**の位置に設定し、通常の時計表示に切り替えます。
3. ディスプレイ前面のアラーム1用設定スイッチを「振動」もしくは「音/振動」に設定します。「振動」を選択すると、ベッドシェーカーとフラッシュライトのみでの目覚ましとなります。「音/振動」を選択するとベッドシェーカーとフラッシュライトと音での目覚ましとなります。音量切替は大一小を選択してください。  
アラームが作動すると時計表示ディスプレイはAL1(およびAL2)を表示します。

**注意:** アラーム1 ON/OFF表示およびアラーム2 ON/OFF表示は、スイッチを「振動」または「音/振動」に設定すると点灯します。



**注意:** 同じアラーム時刻に両方のベッドシェーカーを振動させるためには、アラーム1およびアラーム2を同じ起床時間に設定する必要があります。)

4. 目覚ましアラームは45秒作動して、5分間止まります。この動作を1時間繰り返します。
5. 目覚ましアラームが作動している間に**RESET/SNOOZE**ボタンを押すと、1時間の間、5分毎にスヌーズ機能が働きます。
6. **RESET/SNOOZE**ボタンを2秒間長押しすると、次の日までアラーム機能は停止します。(ディスプレイに**Stop**が表示されます)
7. 前面のスライド式アラーム1目覚まし設定用スイッチをOFFにすると、アラーム機能は切れます。

## ■ 12/24 時間設定

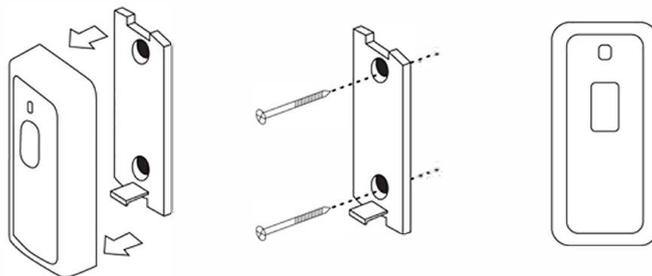
1. 時刻を12時間表示または24時間表示モードに設定が可能です。
2. 工場出荷時の初期状態では12時間表示モードに設定されています。
3. 表示モードを変更するには、設定スイッチを**TIME**位置へ切替して**TEST**ボタンを5秒間長押しします。
4. 12時間表示モードに戻すには、再度**TEST**ボタンを5秒間長押しします。
5. スライド式設定スイッチを**RUN**位置にして通常時計の状態にします。

## ■ 電話着信機能のテスト

1. 電話線入力端子に電話線を接続します。
2. 電話線出力端子に電話機を接続し、接続した電話機に対して電話をかけます。
3. 電話の着信音が鳴っている間、フラッシュや表示等の全てのお知らせが正しく作動している事を確認して下さい。
4. 電話を受話した際に、すぐに全てのお知らせが停止する事を確認して下さい。
5. オプションの携帯電話センサー (CA-CX) を使うと、アイコンが光ります。

## ■ ドアベルの設置とテスト

1. ドアベルはCA-360Jの親器より30mの無線到達距離内でご利用頂けます。フラッシュライト等のお知らせ表示の反応が正しく、45秒間作動するか確認して下さい。ディスプレイにdr-1(1はドアベルの番号)が表示されるか確認して下さい。(もし表示されない場合は、10ページの無線式ドアベルの追加をご参照下さい)
2. 図のように、ドアベルから取付け用のプレートを外して、プレートを2本の木ネジ(別売)でドアの近くに設置して下さい。
3. 取付けプレートにドアベルをはめ込めば設置は完了します。

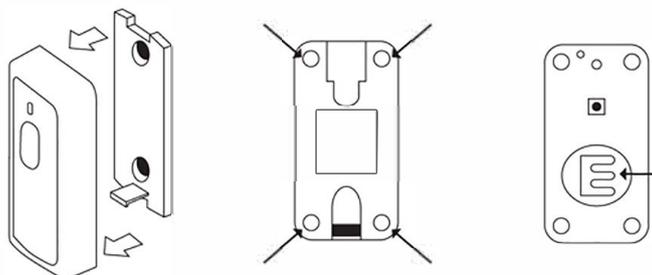


- ①留め具を押してドアベルからプレートを外します。
- ②ご用意頂いた2本のネジでドアまたは壁にプレートを固定します。
- ③プレートにドアベルをはめ込みます。

注意: 金属表面への設置は無線信号の送信が弱くなる可能性がありますので、お止め下さい。

## ■ ドアベルの電池交換

電池(CR2032, 3V リチウム電池)は通常8ヶ月から12ヶ月ほど持ちますが、ドアベルがきちんと作動しない場合や、電源LED表示が暗くなってきた場合には、電池を交換して下さい。



- ①留め具を押してドアベルからプレートを外します。
- ②四つ端にあるネジを外して中央部分を取り外します。
- ③電池を固定してあるネジを外し、コイン型電池を電池収納室に正しく入れて組み直します。

注意: 表記面が上部になるように、電池を正しい位置に入れて下さい。

## ■ 火災警報器の接続

警報装置入力用端子には、無電圧a接点の火災警報器を取り付けることが出来ます。

### □設置方法

1. 警報装置入力用端子に、移報接点付き火災警報器と本製品を接続するケーブルの片側の3.5mm端子を接続します。(本製品にケーブルは付属しません)
2. ケーブルの反対側を移報接点付きの火災警報器に接続します。
3. 火災警報器のテストボタンなどで、警報が正常に作動する事を確認してください。

## ■ 外付ランプ (CA-LX) への接続

CA-360Jはオプションの外付けランプ (CA-LX) を取り付けることができます。CA-360Jの**RESET/SNOOZE**ボタンを使ってランプのオン/オフができます。このランプは本体のフラッシュライトと同調して光ります。

## ■ 無線式ドアベルの追加

1. 新しいドアベル (もしくは他の無線式センサ類) は使用前に親器に登録する必要があります。
2. 設定スイッチを**RUN**の位置にして、**TEST**ボタンをビープ音が鳴るまで5秒間長押しします。デジタルディスプレイ上に**LEAR**が表示され、新しい装置の登録モードになります。
3. 親器が登録モード状態の間に、新しいドアベルのボタンを、親器からビープ音が2回鳴り、ディスプレイに**dr-1** (数字は登録順に増えていきます) と表示されるまで、約5秒間長押しします。
4. **RESET/SNOOZE**ボタンを押すと、登録作業が完了します。
5. 新しいドアベルのボタンを押して動作確認をして下さい。

## ■ 製品仕様

無線技術仕様	2.4GHzスマートコード
電話着信入力	40 vms, 20から65Hz
電話線仕様	RJ-11
ベッドシェーカ用出力端子	9VDC, 150 mA
警報装置用入力端子	入カインピーダンス5.6KΩ以上、 最大入力15 VDC
外付ランプ用出力端子	9VDC, 150 mA
バックアップ用充電電池	単三NiMH充電電池4本(別売) 48時間バックアップ
ドアベル電池	(CR2032リチウム電池)電池寿命8-12ヶ月
DC入力	9VDC, 1,000 mA
作動温度	摂氏10から30度
許容保存温度	摂氏-10から40度

## ■ ディスプレイ表示内容

<b>boss</b>	親器表示
<b>sub</b>	付属器及びリモート受信器表示
<b>dr-n</b>	ドアベル番号表示
<b>As-n</b>	火災警報発信器番号表示
<b>batt</b>	センサ類電池残量警告表示
<b>bs-n</b>	ベビーセンサ番号表示
<b>cell</b>	携帯電話呼出し表示
<b>NOAA</b>	警報装置作動表示
<b>SOS</b>	SOS信号受信
<b>LEAr</b>	親器登録モード中
<b>AL 1</b>	アラーム1設定/作動中
<b>AL 2</b>	アラーム2設定/作動中
<b>ALL</b>	音、振動とフラッシュ全て作動
<b>SHA</b>	振動とフラッシュ作動
<b>OFF</b>	アラーム機能"オフ"
<b>Stop</b>	機能停止(目覚ましおよびオーディオセンサ電池残量減少)
<b>Ph1</b>	電話着信
<b>Set</b>	時刻設定モード
<b>run</b>	通常時計作動モード
<b>on</b>	オプション防犯センサ入力オンもしくは作動
<b>off</b>	オプション防犯センサ入力オフもしくは停止
<b>dEL</b>	全てのアクセサリの登録削除

## ■ 別売アクセサリ類

CA-AX	火災警報発信器
CA-BX	ベビーセンサ発信器
CA-CX	携帯電話発信器
CA-DB	予備ドアベル発信器
CA-DXJ	ドアセンサ発信器
CA-LX	外付けランプ
CA-MX	モーションセンサ発信器
CA-PX	携帯型受信器 (時計表示はありません) CA-360Jセントラルアラートと同様の受信機能
CA-RX	CA-360Jセントラルアラートの受信範囲を広げる為の中継装置
BS-100	予備ベッドシェーカ

## よくある質問

<b>CA-360Jには電池を入れなければいけませんか？</b>
電池は停電時バックアップ用で、電池を入れなくてもCA-360Jは作動しますが、入れてご使用することをお勧めします。
<b>どのような種類の電池が必要ですか？</b>
必ず充電用の電池をご使用下さい。充電用でない乾電池を使用すると、液漏れや機器が破損する恐れがあります。また製品保証の対象外となりますのでおやめ下さい。
<b>充電機はどのくらい持ちますか？</b>
およそ48時間です。
<b>CA-360Jを金属表面の場所へ置いても問題ありませんか？</b>
お止め下さい。金属表面は無線信号を弱め、無線到達距離が短くなる可能性がありますので、CA-360Jは金属表面以外の場所へ置いて下さい。
<b>無線式ドアベルは防水仕様ですか？</b>
はい。ゴムガasketで保護されていますので、防水となっています。しかし、水に浸すのはお止め下さい。
<b>ドアベルの電池の寿命はどのくらいですか？</b>
8ヶ月から12ヶ月です。ドアベルのLED電源表示ランプの光が暗くなった場合や、正常に作動しなくなった場合には交換して下さい。
<b>CA-360Jは何台までドアベルを使うことができますか？</b>
4台のドアベル(CA-DB)またはドアセンサ(CA-DXJ)の組み合わせで使用できます。
<b>CA-360Jは何台までのアクセサリ類を接続できますか？</b>
ドアベルに加えて、CA-360Jは最大で10台のリモート受信器(CA-RX)、10台の携帯型受信器(CA-PX)、10台の火災警報発信器(CA-AX)、3台のペビーセンサ発信器(CA-BX)、1台の携帯電話発信器(CA-CX)を使用できます。
<b>追加のドアベルを購入しましたが作動しません。どうしてですか？</b>
全ての新しいアクセサリ機器類はご使用前に、親器であるCA-360Jに登録する必要があります。アクセサリ機器類の登録の仕方はこの取扱説明書の10ページの「無線式ドアベルの追加」をご参照下さい。

<p>ベッドシェーカを2つ接続した場合、ドアベル等の信号受信時に両方振動しますか？</p>
<p>はい、発信器からの信号を受信した際は、両方のベッドシェーカが振動します。</p>
<p>4台のCA-360Jを購入しましたが、すべてを1つのシステムにまとめることはできますか？</p>
<p>はい、できます。3台のCA-360Jをリモート受信器として、残りの1台を親器として使用します。親器に、3台のリモート受信器を登録します。</p> <p>次の2つのステップを実行してください。</p> <p>まず、<b>(A)</b>の手順で子器にする3台のCA-360Jに登録してあるアクセサリ類を登録解除します。</p> <p>次に<b>(B)</b>の手順で、<b>(A)</b>で登録解除したCA-360Jを「リモート受信器」へ変換します。</p> <p><b>(A) 内部メモリの消去：</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子器にするCA-360Jの電源を入れて、<b>SET</b>スイッチを<b>RUN</b>の位置にします。</li> <li>2. <b>TEST</b>ボタンを、ディスプレイ表示に"<b>LEAR</b>"が表示されるまで約6秒間長押しします。"<b>LEAR</b>"表示中に<b>TEST</b>ボタンを連続で20回続けて押し、"<b>dEL</b>"が表示されれば、内部メモリが消去されます。</li> </ol> <p><b>(B) リモート受信器への変換：</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. <b>SET</b>スイッチを<b>TIME</b>の位置にします。その後<b>MOTION</b>ボタンを約6秒押すと、"リモート受信機"になります。親器表示がオフになっていることを確認してください。</li> <li>2. リモート受信器はアクセサリ機器ですので、ご使用前に親器に登録する必要があります。アクセサリ機器の登録方法についてはこの取扱説明書の10ページの「無線式ドアベルの追加」をご参照下さい。</li> <li>3. 正しい手順で変更すれば、1台の"親器"、3台のリモート受信器と4台のドアベルを一つのシステムとしてお使い頂けます。</li> </ol>